

インターフォンステレオF4 セラーライン

●問い合わせ先 トーヨー産業 ☎03-6303-0030 URL=http://www.tysitd.com/ 税込価格=6万2800円



ステレオモデルが新登場 通話時間も長くなっただぞ

伊セラルーイタリア社の多機能ヘッドセットインターフォン「シリーズ」に、機能を充実させた上位モデルのF4ステレオが登場。スピーカーが2個に増えただけでなく、あらゆる点でバージョンアップしているぞ。

セラーラインのインターフォンをテストしたのは07年4月号で、これは今でも現行モデルとして販売されている。今回のF4ステレオは、そのインターフォンの上級版で、最大の特徴はスピーカーが2個に増えた事だ。これにより、各種ミュージックプレーヤーからの音楽をステレオで楽しめるようになったほか、相手の声が聞き取りやすくなっている。その他、DSP処理により風切り音の除去性能を向上させていたり、3つの機器を必要に応じて切り替えられるマルチポイント接続を追加するなど、既存のインターフォンよりもさらに内容は充実している。

F4ステレオは、ジェットヘルやシテムヘルメットにも対応するユニバーサルタイプと、フルフェイス専用タイプの2種類があり、テストでは前者を使用した。ヘルメットへの取り付けは一般的なで、外部の音をよく聞きたいという人のために、片方のスピーカーが外せるのが親切だ。ヘルメットに装着するパーツの合計重量は実測で170gで、これもごく平均的だ。

インターコムにおける通信可能距離は、従来の1500mから5000mへと飛躍的に伸びている。これはあくまでも両者の間に障害物がなく、周囲がクリアな場合など好条件がそろった時のみだが、ほぼ直線であればバイクの車体色が判別できない距離、およそ3000mくらい離れてしまっても普通に会話が可能だった。相手の話を両耳で聞けるので疲れにくく、また自動的に音量を調節するAGC機能により、スピードを上げても聞き取りやすいのだ。

価格は2個セットのツインパックで6万2800円と高価だが、携帯電話やPNDなどBluetooth対応機器を同時に使いたい人にとって、かなり魅力的なアイテムと言えるだろう。

■ テスターの採点 (10点満点)

項目	評価	コメント
取り付けやすさ	9	クリップタイプはボルトで締め付ける方式なので、固定力は高い。ただ、下方向の張り出しが大きく、メットを床に置いた時に安定しなくなる。ユニバーサルタイプのマイクはフレキシブルアームがやや短めという印象だ。
通話品質	9	インターコムによる対話は非常に明瞭で、さらにスピーカーが左右にある事で、従来よりも確実に聞き取りやすくなった。自動音量調整システムにより、停車時に必要以上にボリュームを上げなくて済むのはうれしい配慮だ。
拡張性	9	新しい高度オーディオ配信プロファイルのA2DPにも対応している。5月28日現在、スタンダード社製のアマチュア無線機FTM-10シリーズとVX-8、BluetoothユニットのBU-11には対応していないので、購入時には注意を。
コストパフォーマンス	8	従来製品の5万5440円から6万2800円と大幅にアップしたが、価格差以上に内容が充実しているのも、まあ妥当と言ったところだろう。ちなみに単体だと3万2800円なので、ツインパックで購入した方がだいぶお得だ。

10=最高 9=とてもよい 8=かなりよい 7=よい 6=ややよい
5=普通 4=やや悪い 3=悪い 2=とても悪い 1=最低



← 本体の側面にあるマルチファンクションボタンと音量調整ボタンは、グローブを装着した状態でも位置が分かりやすかった。



→ ツインパックには本体の充電を同時に行えるツインケーブル式充電器を同梱。満充電までに要する時間は3時間を公称する。

→ 本体を固定するためのホルダーは、写真のクリップタイプの場合に接着タイプが同梱されている。本体は特殊膜「エザール」プロテクション・スキンを覆う事で完全防水を実現。最大連続同時通話時間は10時間で、最大待機時間は従来と同じ700時間だ。

